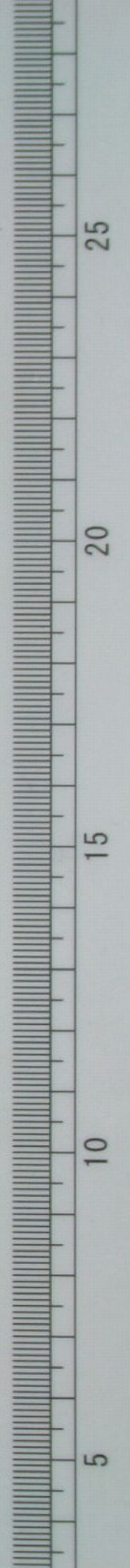




小倉文庫 特  
イ 16  
23



門 116  
號 2024  
卷

寬永十一年八月版



塵劫記

四卷



昭和二十五年  
六月二十日  
受入

ぢ



ん

か

き

(四卷本)

卷一  
卷二



其れ等々之依援録首み合りて  
 一より自室の録氏と云ふことあり  
 此れ其の救世よおとせらるるに  
 要する所の國家の事あり  
 此れ其の長あわその事あり  
 此れ其の耕と云ふことあり

梓と振假名から見て  
 其一種

法ありて法の法ありりし法を  
 つくしつらとせしは百舞とてわか  
 るるは又舞とて舞とて舞と  
 志とて志とて志とて志とて志と  
 舞とて舞とて舞とて舞とて舞と  
 あり舞外遠山のなることごと  
 くもくもくは志の海濱のありさ  
 らしきとて塵とて塵とて塵とて天

舞もや日月の形道舞林の運  
 気そのあり聖賢百士のたると  
 舞教おしりて善舞とて善舞と  
 の順舞とて善舞とて善舞とて  
 舞とて舞とて舞とて舞とて舞と  
 ありれとて舞とて舞とて舞と  
 あり舞とて舞とて舞とて舞と  
 あり舞とて舞とて舞とて舞と

あつて聖門に入るのたふあ  
とせんといふ人よ下流のあふあ  
さぬあふあふあふあふあ  
あひくてもんあふあふあ  
らうあふあふあふあふあ  
あふあふあふあふあふあ

りんきき巻の二目録

- 中一 大教の名あり
- 中二 小教の名あり
- 中三 権の教乃名あり
- 中四 田教乃名あり
- 中五 徳和性守の事
- 中六 九九の教あり
- 中七 八人の事あり
- 中八 鬼一りの事あり
- 中九 子てこれゆゑの事



恒河沙  
十恒河沙  
百恒河沙  
千恒河沙

阿僧祇  
十阿僧祇  
百阿僧祇  
千阿僧祇

那由他  
十那由他  
百那由他  
千那由他

不可思議  
十不可思議  
百不可思議  
千不可思議

無量  
大數

第二 小數之名

兩  
文  
分  
釐  
毫  
絲

忽  
微  
纖  
沙  
塵  
埃

第三 粒の數之名

斛  
斗  
合  
分  
抄

撮  
圭  
粟



第四

田敷之方名

一畝	一町	一畝	一畝	一畝
長六寸五分 廣一尺二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分
一畝	一畝	一畝	一畝	一畝
長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分

第五

反物極高之方

金	銀	銀	銀	玉
長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分
一畝	一畝	一畝	一畝	一畝
長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分	長一丈二分 廣一丈二分



二二	二四	二六	二八	三三	三五	三七	三九	四四	四六
四	八	十二	十六	十九	十五	二十一	二十七	十六	二十四
二三	二五	二七	二九	三四	三六	三八		四五	四七
六	十	十四	十八	十二	十八	二十四		二十	二十八

九九之數

銅	錄	鋤	去	日	日	日	日
あらか	てり	あちう	つら				
手子							
日	日	日	日	日	日	日	日
かりき	かりき	かりき	かりき	かりき	かりき	かりき	かりき
七松又	六松又	五松又	四松又	三松又	二松又	一松又	

四八	九八	四九	九六
五五	八八	五九	八七
五七	七九	五八	七九
五九	七七	五七	七八
六六	六八	五六	六九
六八	七七	五八	六八
七九	七九	五七	六七
八八	八八	五八	六八
九九	九九	五九	六九

第七

八さんまりれ了系の事

二のまり	二一	天化	二
三のまり	三一	天化	一
四のまり	四一	天化	二
五のまり	五一	天化	三
六のまり	六一	天化	四
七のまり	七一	天化	五
八のまり	八一	天化	六
九のまり	九一	天化	七



あふひ

松本万三三官百七十九

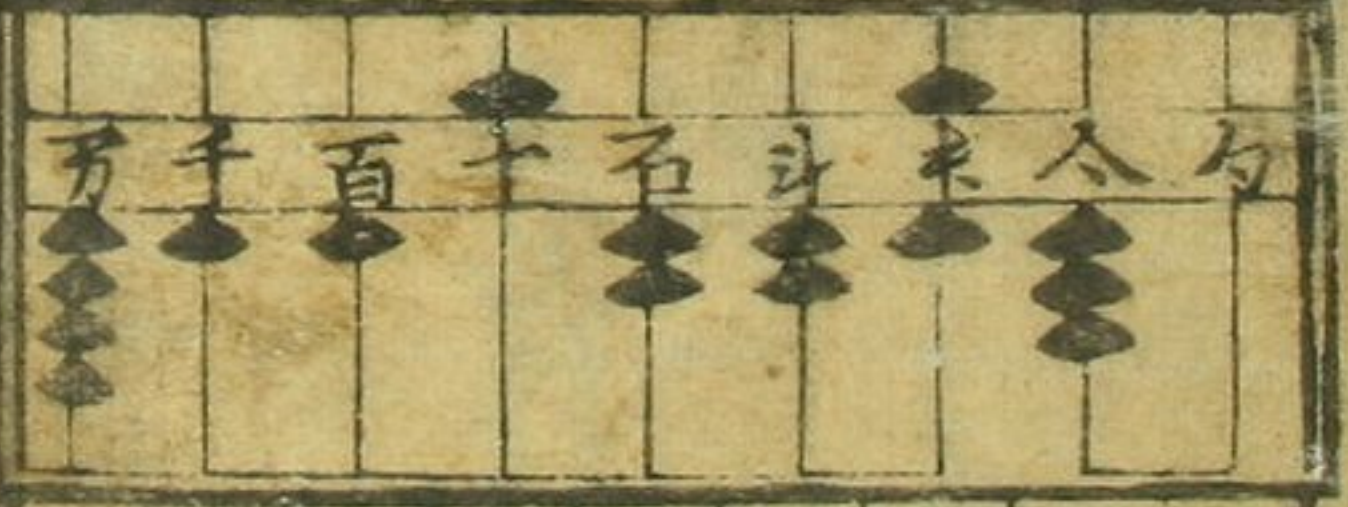
三川小三九八

三万八千六百七十九

りけん



九進三千  
 九進三千  
 六進二千。三二九一  
 三進千。三進千  
 三進千。三進千  
 三進千。三二九一  
 三進千  
 三進千  
 三二九一



二二九  
 二二九  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六

あふひ

松本万三三官百七十九

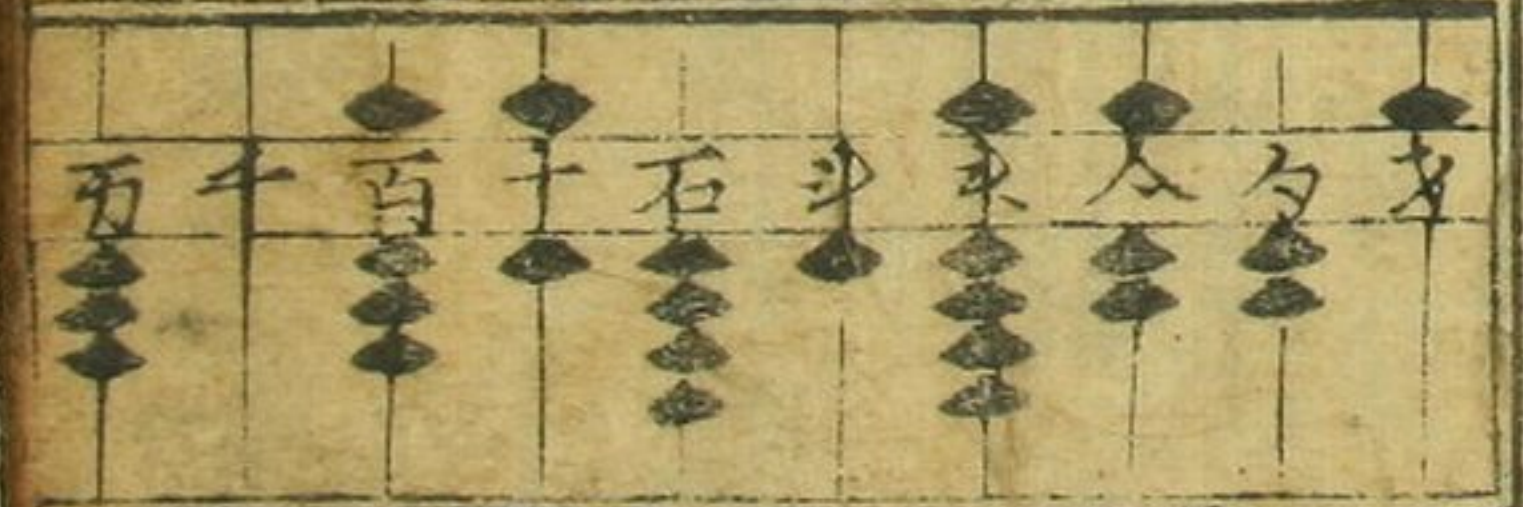
三川小三九八

三万八千六百七十九

りけん



九進三千  
 九進三千  
 六進二千。三二九一  
 三進千。三進千  
 三進千。三進千  
 三進千。三二九一  
 三進千  
 三進千  
 三二九一



二二九  
 二二九  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六  
 二二六

あつひ算  
 於此方三三三四百五拾六在七身半九分  
 五ノ小ニレハ

此方中ノ音九拾六在七身半七分也

人	●●●
束	●●●
斗	●●●
石	●●●
千	●●●
百	●●●
十	●●●
方	●●●
十	●●●

五進一十。五〇倍他八  
 五進千。五三倍他六  
 五進千。五二倍他四  
 五進千。五一倍他二  
 五進千  
 五〇倍他八  
 五三倍他六  
 五二倍他四  
 五一倍他二

方	●●●
人	●●●
束	●●●
斗	●●●
石	●●●
千	●●●
百	●●●
十	●●●
方	●●●
十	●●●

六六六  
 七七七  
 八八八  
 九九九  
 一〇一〇  
 一一一  
 一二二

あつひ算  
 於此方三三三四百五拾六在七身半九分  
 六ノ小ニレハ  
 此方五百七拾六在七身半七分也

人	●●●
束	●●●
斗	●●●
石	●●●
千	●●●
百	●●●
十	●●●
方	●●●
十	●●●

六進一十。六三他六  
 六進千。六進一十  
 六進千。六一他下  
 六進千  
 六進一十。六三他六  
 六進一十。六三他六  
 六進一十。六三他六  
 六進一十。六三他六

方	●●●
人	●●●
束	●●●
斗	●●●
石	●●●
千	●●●
百	●●●
十	●●●
方	●●●
十	●●●

五六六  
 六七七  
 七八八  
 九九九  
 一〇一〇  
 一一一  
 一二二

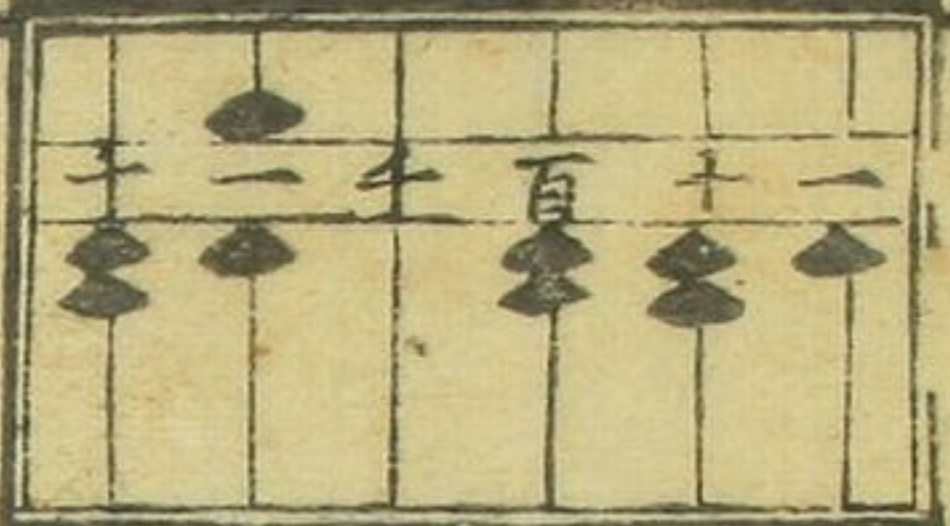








算



あつひのしる  
たふさ  
○かすま  
八

つれぬ  
見  
ひ  
二倍  
八

これ  
あ  
十三  
人の  
百

五六  
二五  
二倍  
見

五六  
二八  
二天  
二八

たふさ  
あつひ  
二つ  
ひき

二百

○二百

八

算



五六  
二五  
二倍  
見

五六  
二八  
二天  
二八

あつひ  
見  
ひ  
二倍  
八

音 卒 姿 分

十	百	千	万	十	百	千	万
●	●●	●●●	●●●●	●	●●	●●●	●●●●

りひひ  
 亦百八拾九算八百九拾九算と  
 ○算百八拾六ふりしり時少  
 五百九拾六算ふりしり時少

五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六	五十六

△見しにふり九算 又八算のり  
 〇一信也  
 〇一信也

音 卒 姿 分

十	百	千	万	十	百	千	万
●	●●	●●●	●●●●	●	●●	●●●	●●●●

〇五十八算  
 〇五十八算  
 〇五十八算

五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八	五十八

〇一信也  
 〇一信也  
 〇一信也

九石

千	百	十	一
五	十	十	十
五	十	十	十

わろひ

○六石百七終五ふりしれ  
 九石百七終五ふりしれ

五	五	五	五
五	五	五	五
五	五	五	五
五	五	五	五

△見六石百七終五ふりしれ  
 ○一・倍六

九石

千	百	十	一
五	十	十	十
五	十	十	十

わろひ

○七石百七終五ふりしれ  
 三石百七終五ふりしれ

七	七	七	七
七	七	七	七
七	七	七	七
七	七	七	七

△見七石百七終五ふりしれ  
 ○一・倍七

七 分 八 毫

百	十	一	分	毫
●●●	●●	●	●●●●	●●●●●●

あつたに  
八分は百九十九分  
○八分は百九十九分  
九分は百九十九分

百	十	一	分	毫
●●●	●●	●	●●●●	●●●●●●
九二分	九二分	九二分	九二分	九二分
九二分	九二分	九二分	九二分	九二分

あつたに  
八分は百九十九分  
○八分は百九十九分  
九分は百九十九分

分 毫 厘 毫

百	十	一	分	毫	厘	毫
●●●	●●	●	●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●

百	十	一	分	毫	厘	毫
●●●	●●	●	●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
九二分	九二分	九二分	九二分	九二分	九二分	九二分
九二分	九二分	九二分	九二分	九二分	九二分	九二分

あつたに  
八分は百九十九分  
○八分は百九十九分  
九分は百九十九分

〇 倍 一 倍 九

第九

うけてこねるうんの事

△みふころりき時き 二とかくぬ也

△たふころりき時き ひとかくぬ也

△二川みころり時き 力をかくぬ也

△百たふころり時き ひとかくぬ也

第十

みふころりぬいの事

△年八百終るあち時弘松を百年守りて

二天のまじりてあち年終るぬいの事

於八百終る百入松自と云也

ちふ年八百終る石とよまきひらみころりバ

昇年三乗成合とあきりてたき年とお場昇

三乗成合てこれ八十歳七百終ると云也

△一ぬい年まじりてこれかくぬいの事

△ふころりぬいの事と云也

△銀五石を松とあきりて松石可申三乗

がのまじりぬいの時たき銀五石を松とあきりて

神格田名五石を松とあきりて

たふころりぬいの事と云也

と云也たふころり銀五石を松とあきり

△ 派松三葉田口ハ松ノ葉分クテ  
 時節松ノ葉分クテ  
 五ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也

△ 大ノ派松三葉田口ハ松ノ葉分クテ  
 陽北ニ五ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 年ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 年ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 年ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 年ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 年ノ百ニ松七ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也  
 一ノ年ノ一ノ也

△ 銀松<sup>しんしょう</sup>の片を三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす 杖<sup>わら</sup>がりの  
河<sup>か</sup>のまなかがあふり<sup>あふり</sup>とあつる<sup>あつる</sup>といふ所<sup>ところ</sup>

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

大ふき<sup>おほき</sup>とすき<sup>き</sup>たる三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす  
又<sup>また</sup>杖<sup>わら</sup>とす<sup>す</sup>とすき<sup>き</sup>たる<sup>たる</sup>の<sup>の</sup>片<sup>かた</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

△ 片<sup>かた</sup>あつる<sup>あつる</sup>まな<sup>まな</sup>が<sup>が</sup>の<sup>の</sup>杖<sup>わら</sup>とす

あつる<sup>あつる</sup>三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

ちんちん<sup>ちんちん</sup>とす

△ 又<sup>また</sup>三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす

あつる<sup>あつる</sup>三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

九斗<sup>くうと</sup>とす

△ 片<sup>かた</sup>あつる<sup>あつる</sup>三斗九升<sup>さんとく九しょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす

三斗九升 銀松<sup>しんしょう</sup>とす



ふまありの紙は百枚出ぬるを計りて  
たぐりたりとておしめしあり

上巻 一石七斗二升申合度又

中巻 一石七斗二升申合度又

下巻 一石七斗二升申合度又

一石七斗二升申合度又

一石七斗二升申合度又

紙書合式百枚出ぬる

まのたのみのさうたの紙合百枚出ぬる  
紙書合式百枚出ぬる  
一石七斗二升申合度又  
又紙書合式百枚出ぬる  
とて申されしをいふは紙書合式

△下年一石月 九七五二五のきり也

中身一石月 九七五二五のきり也

下年一石月 九七五二五のきり也

あり詔に百秋後をよむはしきり也

下の年よりし時よきり申すはしきり也

より申すはしきり申すはしきり也

きり申すはしきり申すはしきり也

中身一石月 九七五二五のきり也

下年一石月 九七五二五のきり也

あり詔に百秋後をよむはしきり也

下の年よりし時よきり申すはしきり也

より申すはしきり申すはしきり也

詔に百秋後をよむはしきり也

あり詔に百秋後をよむはしきり也

下の年よりし時よきり申すはしきり也

より申すはしきり申すはしきり也

きり申すはしきり申すはしきり也

あり詔に百秋後をよむはしきり也

儀まじりの事

△身八百又拾五を二但一石万三庫ワカ人

ハシラ戸時たきまき目家たきとて時

先立たきとてたきとてけし田二庫ハシラ

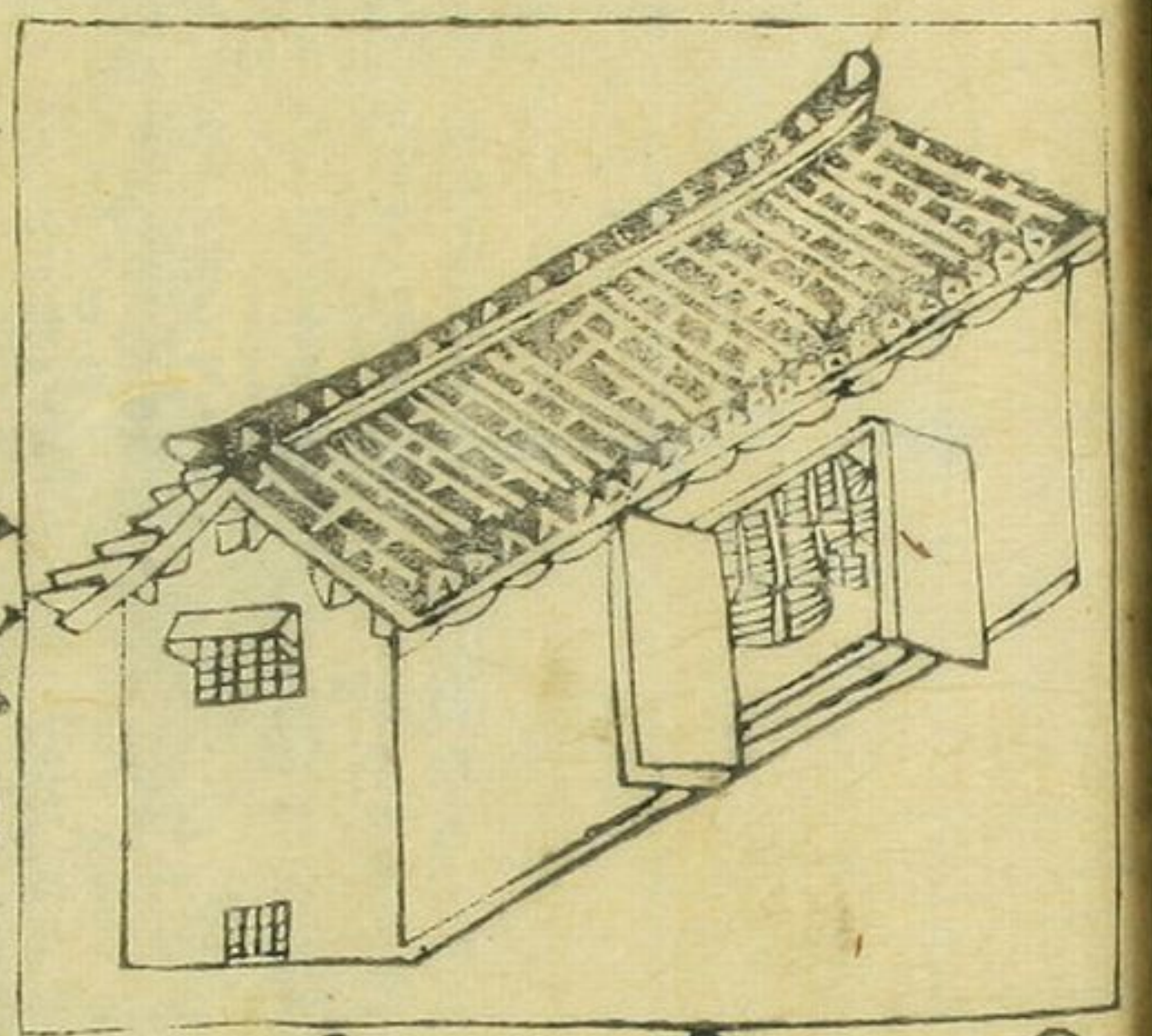
七庫ありとてたきとて八百庫たきハシラ

△同斗儀ハシラ二庫ハシラ物儀ハシラ

のたきとてけしとてたきとてハシラ

ハシラハシラハシラハシラハシラ

ハシラハシラハシラハシラハシラ



○是ハシラハシラハシラ

合ハシラハシラ

ハシラハシラハシラ

合ハシラハシラ

○是ハシラハシラハシラ

合ハシラハシラ

但斗儀ハシラハシラハシラハシラ

ハシラハシラハシラハシラハシラ

ハシラハシラハシラハシラハシラ

合ハシラハシラハシラハシラ

四斗半儀六斗儀十三斗儀  
五斗儀六斗儀七斗儀  
六斗儀七斗儀八斗儀  
七斗儀八斗儀九斗儀  
八斗儀九斗儀十斗儀  
九斗儀十斗儀十一斗儀  
十斗儀十一斗儀十二斗儀  
十一斗儀十二斗儀十三斗儀  
十二斗儀十三斗儀十四斗儀  
十三斗儀十四斗儀十五斗儀  
十四斗儀十五斗儀十六斗儀  
十五斗儀十六斗儀十七斗儀  
十六斗儀十七斗儀十八斗儀  
十七斗儀十八斗儀十九斗儀  
十八斗儀十九斗儀二十斗儀  
十九斗儀二十斗儀二十斗儀

七費八斗儀

又費六斗儀

派三斗儀九費又百斗

分十二

儀七斗儀

△志このくく儀七斗儀  
七儀少くく時儀七斗儀  
りくあをくく時

億数  
九核を億とす

ちよと億とす

又九中と億とす

と億とすこれ小億

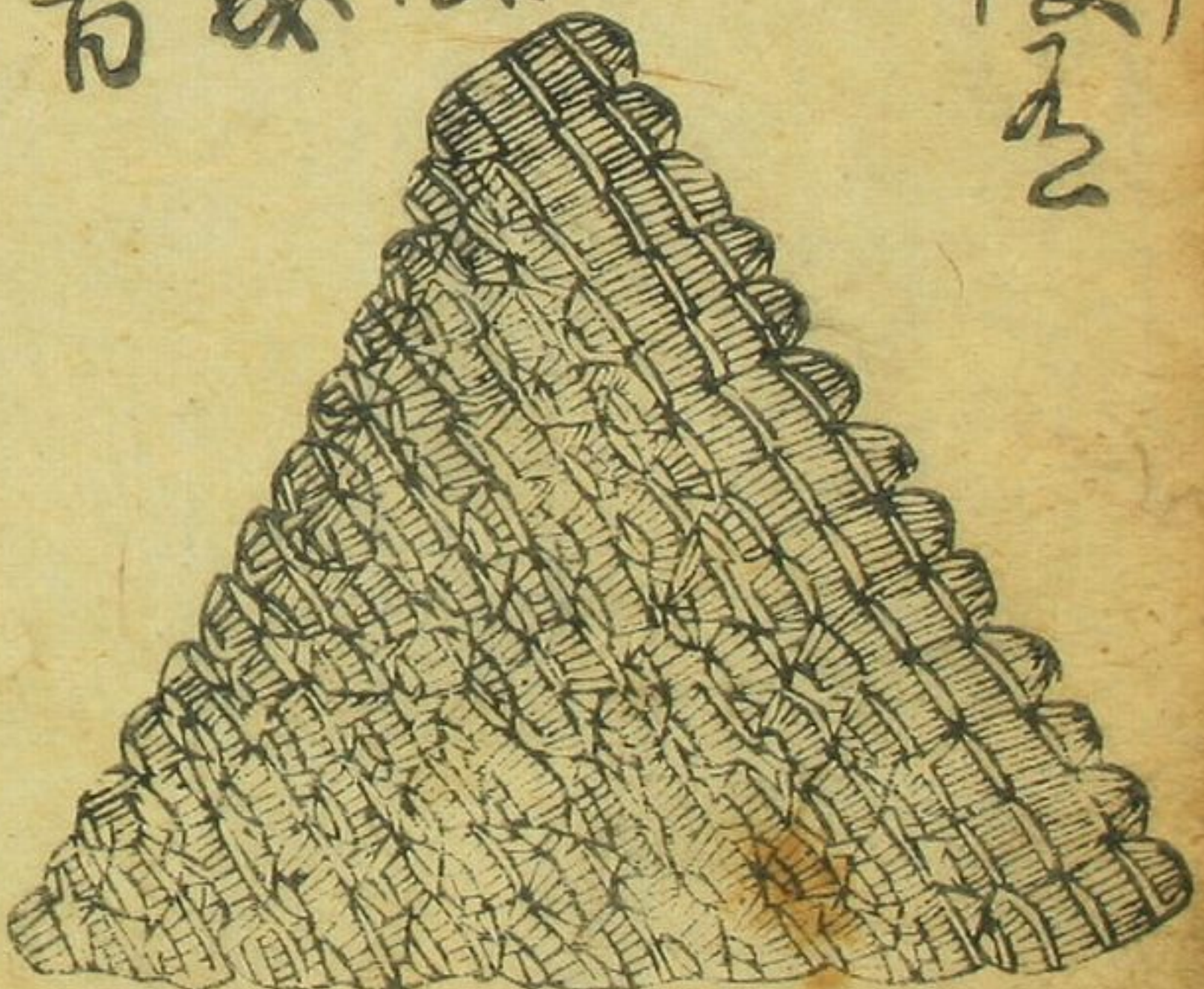
と億とす

これちよか九百

半億とす

みこれ九十一と

とす



十億

上のいまり八億とす

中八億とす

みこれとす

億数  
百核とす

とす

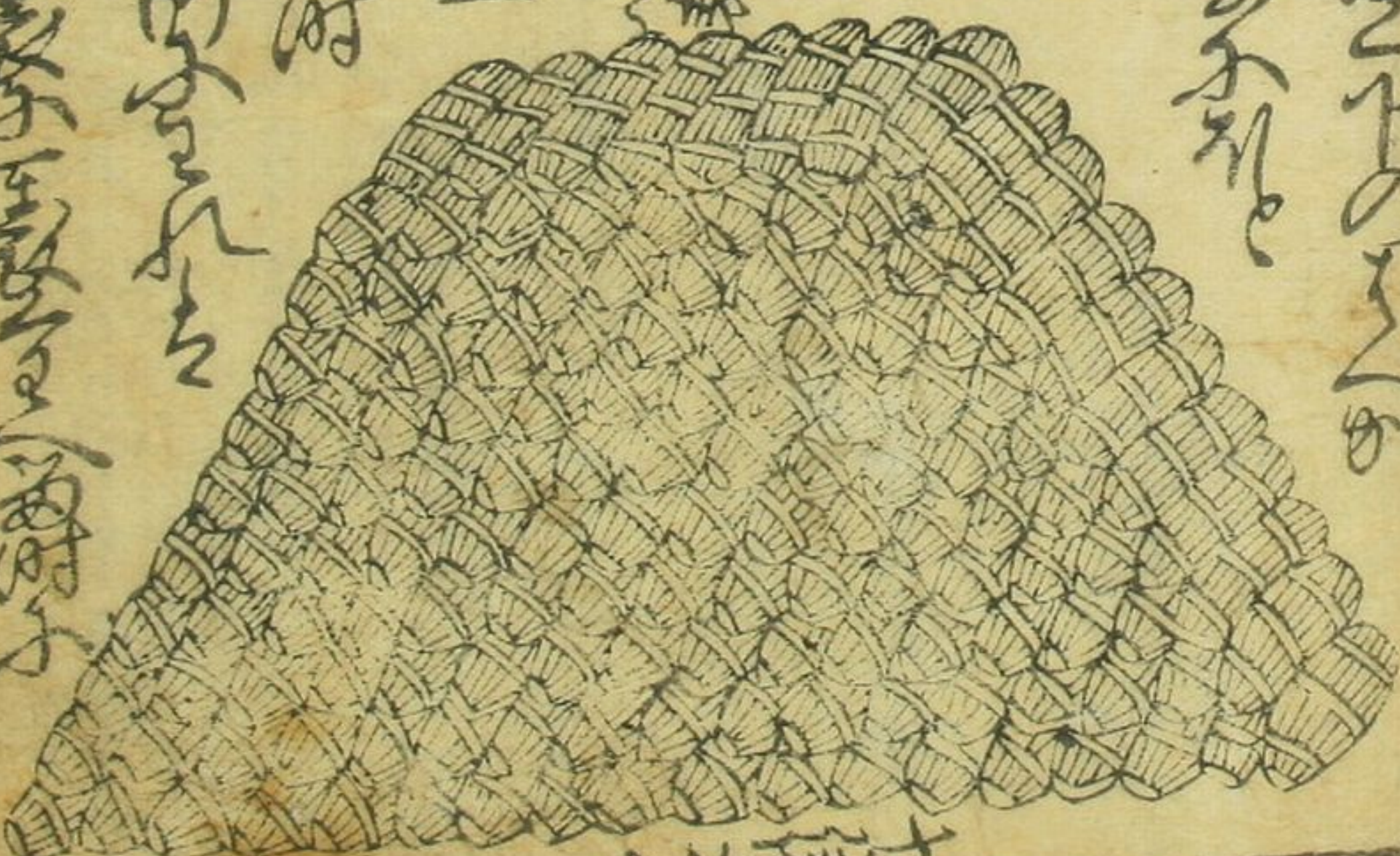
ひこれとす

とす

のこ八核とす

たを核とす

とす



十億

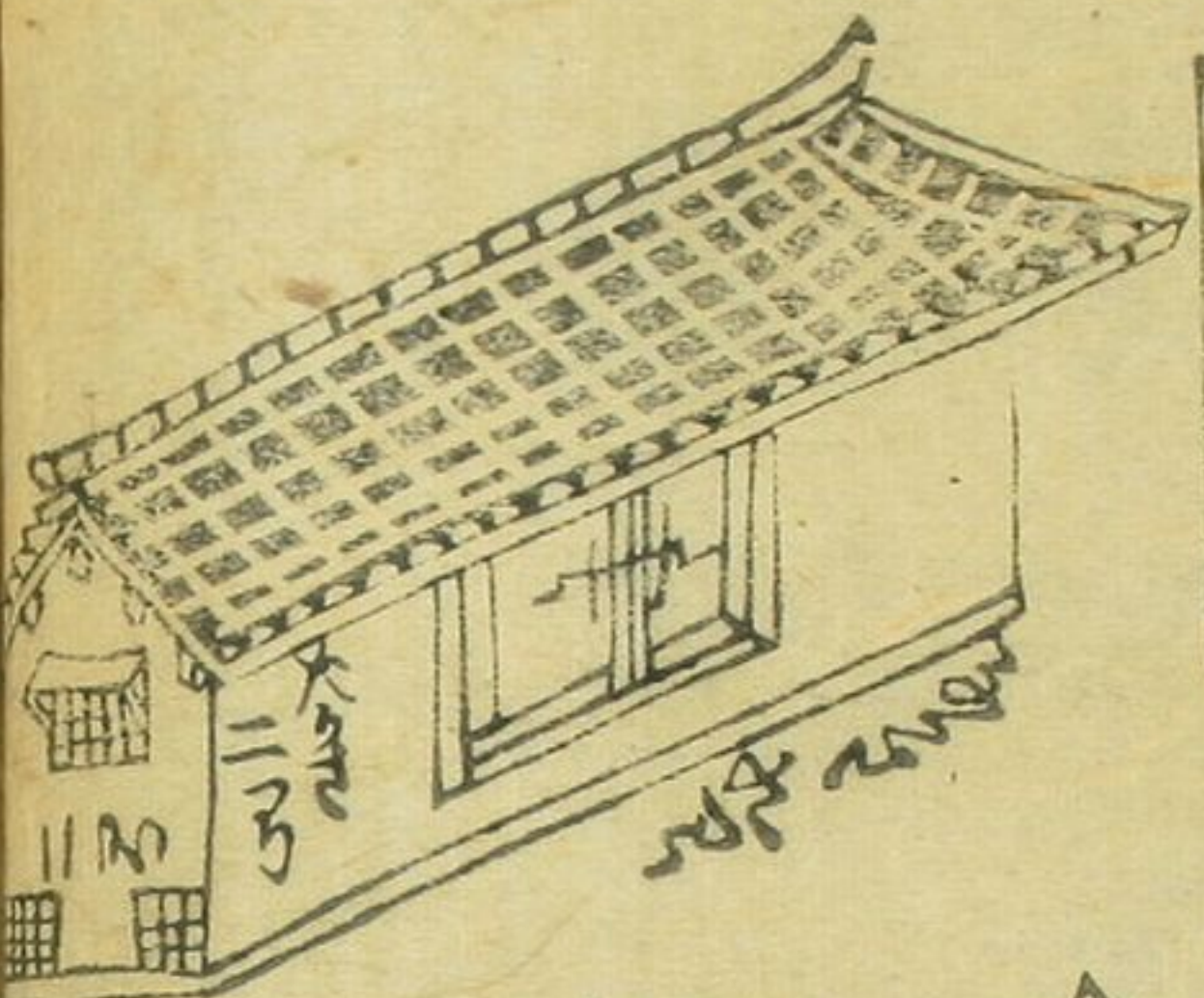
三

百

十九歳より二十歳までの公教を以て時子  
 姑わらわと云ふはこれひらの十三歳とかく  
 其六百の倍と云ふ事也

第十之

花子に云ふはつりつりの事



△此等花子儀はあつたか  
 二の六百の倍二儀入と云  
 たりと云ふはよよの事也  
 此等花子儀はあつたか  
 此等花子儀はあつたか  
 此等花子儀はあつたか

二の六百九十二儀と云ふ事也又二儀入  
 卒二儀入卒の事也此等花子儀はあつたか  
 かくれ二の六百計表入と云ふ事也

右の事も花子に云ふはつりつりの事  
 此等花子儀はあつたか  
 此等花子儀はあつたか

第十之

花子に云ふはつりつりの事

△此等花子儀はあつたか  
 此等花子儀はあつたか  
 此等花子儀はあつたか



費文目

九百一	軍支四九	九百九	軍支二八
九百二	軍支三七	九百八	軍支二六
九百三	軍支二六	九百七	軍支二四
九百四	軍支二四	九百六	軍支二三
九百五	軍支二三	九百五	軍支二二
九百六	軍支二二	九百四	軍支二一
九百七	軍支二一	九百三	軍支二〇
九百八	軍支二〇	九百二	軍支一九
九百九	軍支一九	九百一	軍支一八

たれれいんま〜んり人此  
たれれいんま〜んり人此

△世に若費八百又の海を費又の百十七也

一たれれいんま〜んり人此

百物もあつた

まろの費八百又の海を費又の百十七也

たれれいんま〜んり人此

△世に若費八百又の海を費又の百十七也

たれれいんま〜んり人此

榮費八百又

花昔持二百又の石小田

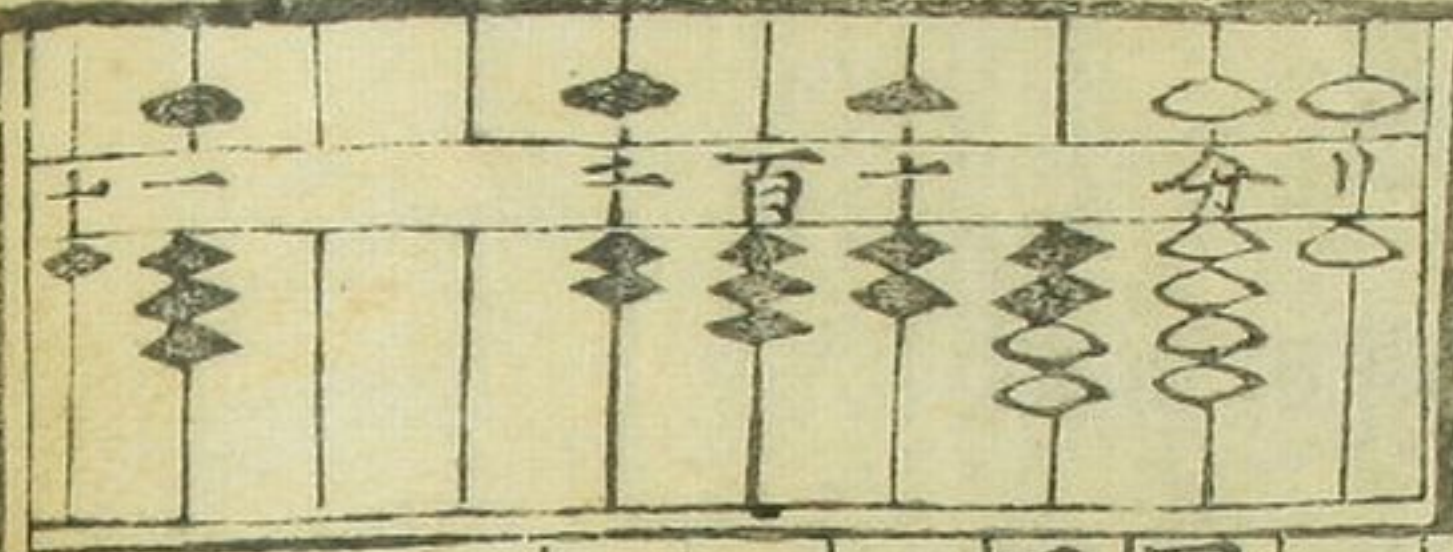
りつてつる耐小た費又百也





二に七費二百七格のやを二六に又百十後小  
一七をせらば一のよおさいのいふしあ  
流 百三格の各七分より一とるよ

百 七 五 九 六



	四正六加九十五王		五八			
	已七九八加		又二八八	七八五六		
		辛		二七	三六	
		言			三三	七六六
		又				二七

世に七費二百七格のやを二六に又百十後小  
一七をせらば一のよおさいのいふしあ

△七に二費のや 十をたすのいふた也

中せん二費のや 十をたすのいふた也

中せん二費のや 十をたすのいふた也

中せん二費のや 十をたすのいふた也

中せん二費のや 十をたすのいふた也

七費二百七十也

中せん  
七費二百七十也

七費二百七十也

七費二百七十也

七費二百七十也

七費二百七十也

第廿六

詠女之の事

まじりたるのこころをたぬふとまて  
 又平たんのこころをたぬふとまて  
 合三抄のこころをたぬふとまて  
 十のこころをたぬふとまて  
 △テ詠又百六拾九巻の海へまてしむきふ  
 △二のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △三のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △四のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △五のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △六のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △七のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △八のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △九のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △十のこころをたぬふとまてしむきふ

△一のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △二のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △三のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △四のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △五のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △六のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △七のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △八のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △九のこころをたぬふとまてしむきふ  
 △十のこころをたぬふとまてしむきふ

△わらわらちあつていふ百本目も海丁紙あつる  
 海子何二ふしてたきま板紙紙を紙に  
 九百かぬ二分ふ紙といふ  
 先だふ紙をまきして百三ふん紙りて  
 九も七ふあつたれつちく九百本目ふけり  
 △三分ふらちく九七とかの紙らん  
 そとむら二下三ていふらん  
 △三ふまらうといふ二下三とけ  
 四ら九七ていふらん  
 △紙目三つらのもいふ  
○三架下古 ○二架下大  
 ○三架下上 ○二架下中

新巻 金あぐりの事

△金ハ松あまの雨らんきんめいん紙五目紙  
 八あがみしてたきま板紙紙を紙に  
 三三白目といふ  
 判金三枚のちめ紙紙はあつていふる  
 小紙八目と半紙八目といふてこれ八金三枚紙  
 紙をまきつふあつたれつちく九百本目  
 かこれ紙三三白目といふらん  
 右これ紙初らんらんかかめいん  
 左これ紙初らんらんかかめいん

たうんあませうこせふあり

△あらひの金七をばりあると判金のころが  
 派又百圓の対入百圓の半定めてこれ  
 金七をばり派する三分あり二色系三忽  
 小高うろこのれおたし金七をばりうとく  
 八粒にぬみふりぬる色系忽ふぬ  
 かのこくはしまてあますくわき金  
 △たしりるきころのこれあり

金七をばりうりお判のころが又百圓の  
 しくたし金七をばりうりお判のころが

八粒にぬみふりぬる

たし金七をばりうりお判のころが又百圓の  
 とかこれ七をばりぬる半定めてこれ十  
 又おとまるも也たれまきんせひから  
 △派小百圓の対判金のころが又百圓の  
 てたし派小金をばりうりお判の

金 七をばりうりぬる

ちり派小百圓の対お判のころが又百圓の  
 八粒にぬみふりぬる又百圓のころが  
 金七をばりうりぬる也

△上金九拾五匁九分ハ 判金<sup>えんぎん</sup>を<sup>まい</sup>枚百枚ハ多ク也  
 中金百枚ハ多クハ もんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 下金八拾五匁九分ハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 三匁合三匁拾七匁七厘ハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 小匁五匁六厘ハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 七匁三厘ハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 之ハ九匁九分ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 又中百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 又下ハ拾五匁九分ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 又三匁合三匁拾七匁七厘ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク

手札

金匁拾五匁の<sup>まい</sup>三匁<sup>三匁合三匁拾七匁七厘</sup>ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク

小匁五匁六厘の<sup>まい</sup>三匁

△小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 右小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 △小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 右小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 △小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク  
 右小匁八拾七匁九分ハ 一匁百枚ハ多クハもんきねの<sup>まい</sup>百枚ハ多ク



△<sup>だんり</sup>新刊大分三費用三三三

もろふりこもろあふ

<sup>中</sup>外費用百回より

と三費用とたふをたふと

ちう三費用とてつた三費用

△<sup>新</sup>新刊大分三費用三三三

もろふりこもろあふ

三費用百六拾六

先七費用とたふをたふと

十

△一年のあひ

二つ三あふりこもろあふ

三費用小付て

<sup>一</sup>台三費用百六拾六

<sup>二</sup>台三費用百六拾六

<sup>三</sup>台三費用百六拾六

<sup>四</sup>台三費用百六拾六

<sup>五</sup>台三費用百六拾六

<sup>六</sup>台三費用百六拾六

<sup>七</sup>台三費用百六拾六



△ 派を費用といふは、いふからいひて十年の  
 わいふお十といひて、いふからいひて十年の  
 派 派 又於て費用の百中、いふからいひて十年の  
 まうき費用といふは、いふからいひて十年の  
 てすかかれば、いふからいひて十年の

△ 中派を於て費用の百中、いふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の

△ 又ち、中派を於て費用の百中、いふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 △ 川、派を於て費用の百中、いふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の  
 といふからいひて十年の



△あんまこれに争むる時経てんふは  
 たりたるまじく争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

まじく争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

△又なるかこれに争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

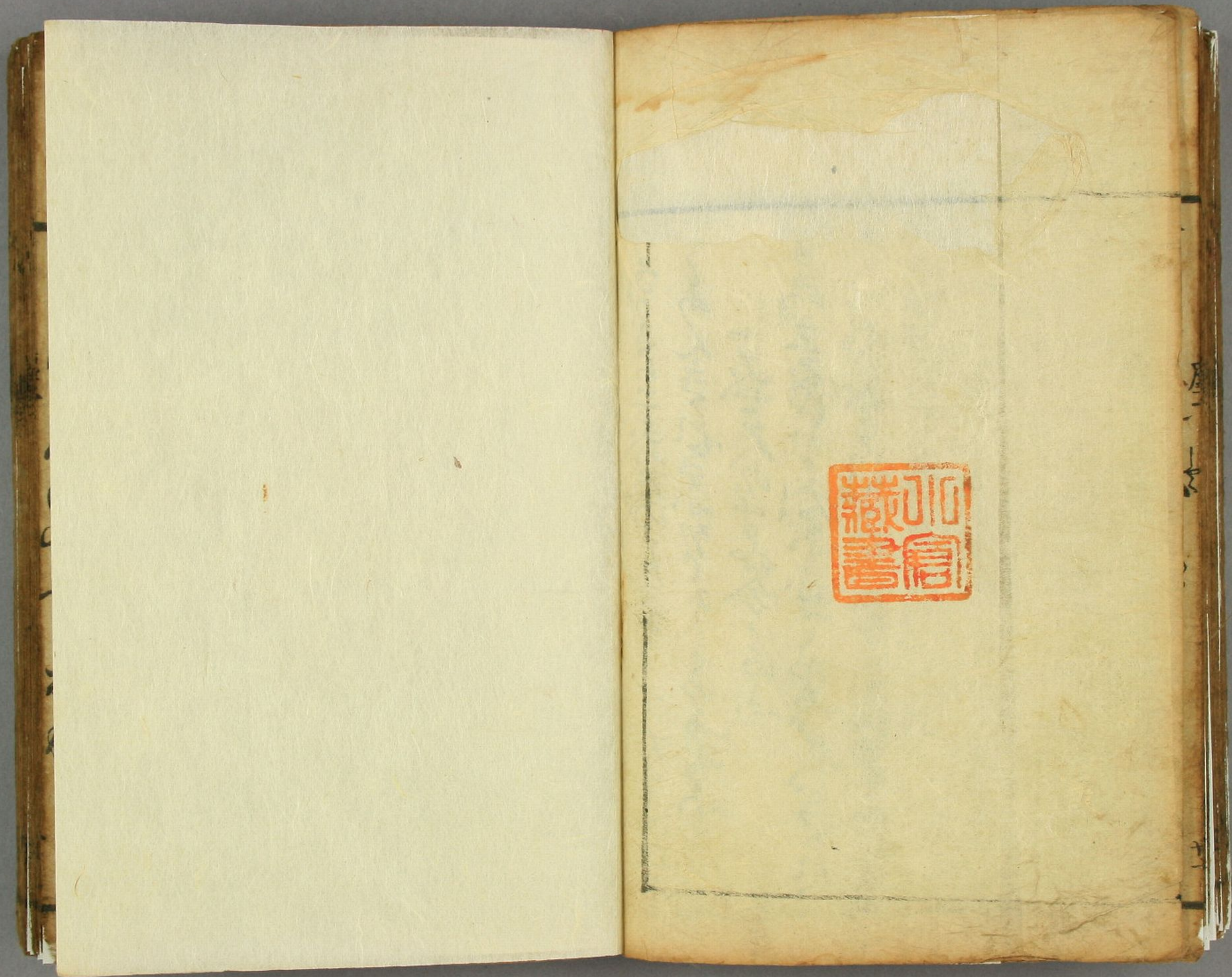
争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは  
 争ふは争ふは争ふは争ふは争ふは

塵一



知信藏書

中一 ちんきん巻の二内録  
 中二 へんぎんあり  
 中三 きんぎんあり  
 中四 ちんぎんあり  
 中五 ちんぎんあり  
 中六 ちんぎんあり  
 中七 ちんぎんあり  
 中八 ちんぎんあり  
 中九 ちんぎんあり



塵三

申一 とうだいのけびわり  
 申二 びやうぶらなまはち  
 申三 けつりうひまきーのる

第 一

くまんの事

△あらひをりみまのく銀鉄をぬがゆし時ふ  
 へびまのぬがゆし時ふ下へはけりあると云

一五五分	一五五分	二五下	三五	四五下	六五分	八五分
------	------	-----	----	-----	-----	-----



申すはてはぬがゆし時ふをぬがゆし時ふ  
 するはてはぬがゆし時ふの申すはてはぬがゆし時ふ  
 日れた下へはけりあると云はれ申すはてはぬがゆし時ふ  
 ぬがゆし時ふの申すはてはぬがゆし時ふ



京の商の加

銀の積り

いんぎん 百一十  
ちんぎん 廿八  
三二

百十三

さかの商の加

銀の積り

いんぎん 八十二  
ちんぎん 九二  
二七

百十三

大坂の商の加

銀の積り

いんぎん 七十七  
ちんぎん 十八  
二二

百十三

まの今志ん二百五拾行  
卒定費の百目とわかれ  
百六拾費用とこれら  
三又いらす事  
きん十  
あんの入志ん  
又らん  
いんぎん



六分三々ろくぶんさんさと云ふ事ことは、  
 百半ひゃくはんの三さんと云ふ事ことは、  
 一ひとと云ふ事ことは、  
 〇まると云ふ事ことは、  
 三さんと云ふ事ことは、  
 二にと云ふ事ことは、

弟三

あつらひのうらな事

△あるいふ事ことは、昔むかしも、  
 時ときふらんしん、  
 三さんと云ふ事ことは、  
 信しんと云ふ事ことは、  
 左ひだりと云ふ事ことは、  
 △又またと云ふ事ことは、

外ほか百ひゃくと云ふ事ことは、  
 右みぎと云ふ事ことは、



糸心

檢地の事

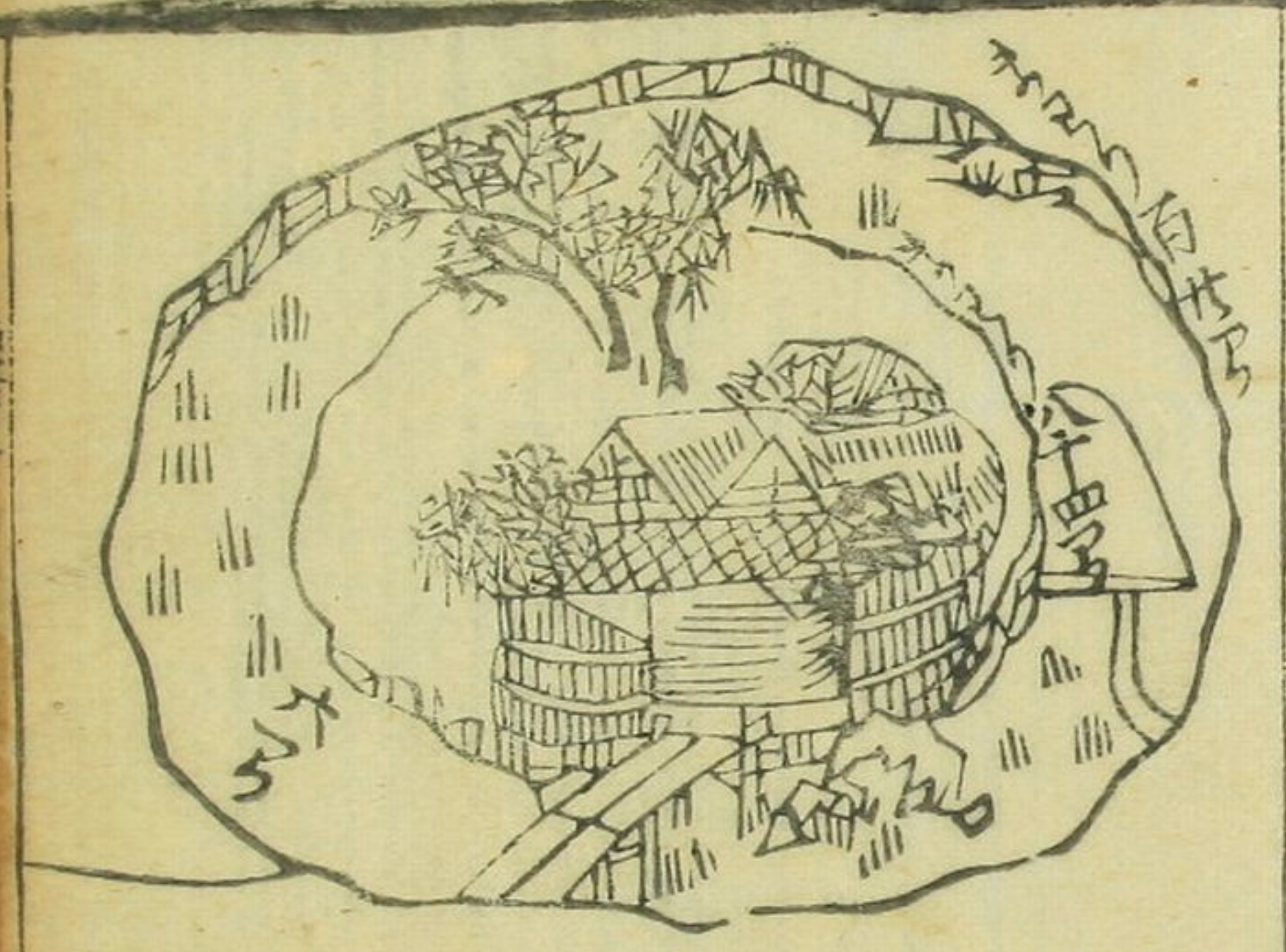
長年八百  
 長年八百  
 長年八百  
 長年八百

長年八百  
 長年八百  
 長年八百  
 長年八百

長年八百  
 長年八百  
 長年八百

長年八百  
 長年八百  
 長年八百

長年八百  
 長年八百  
 長年八百

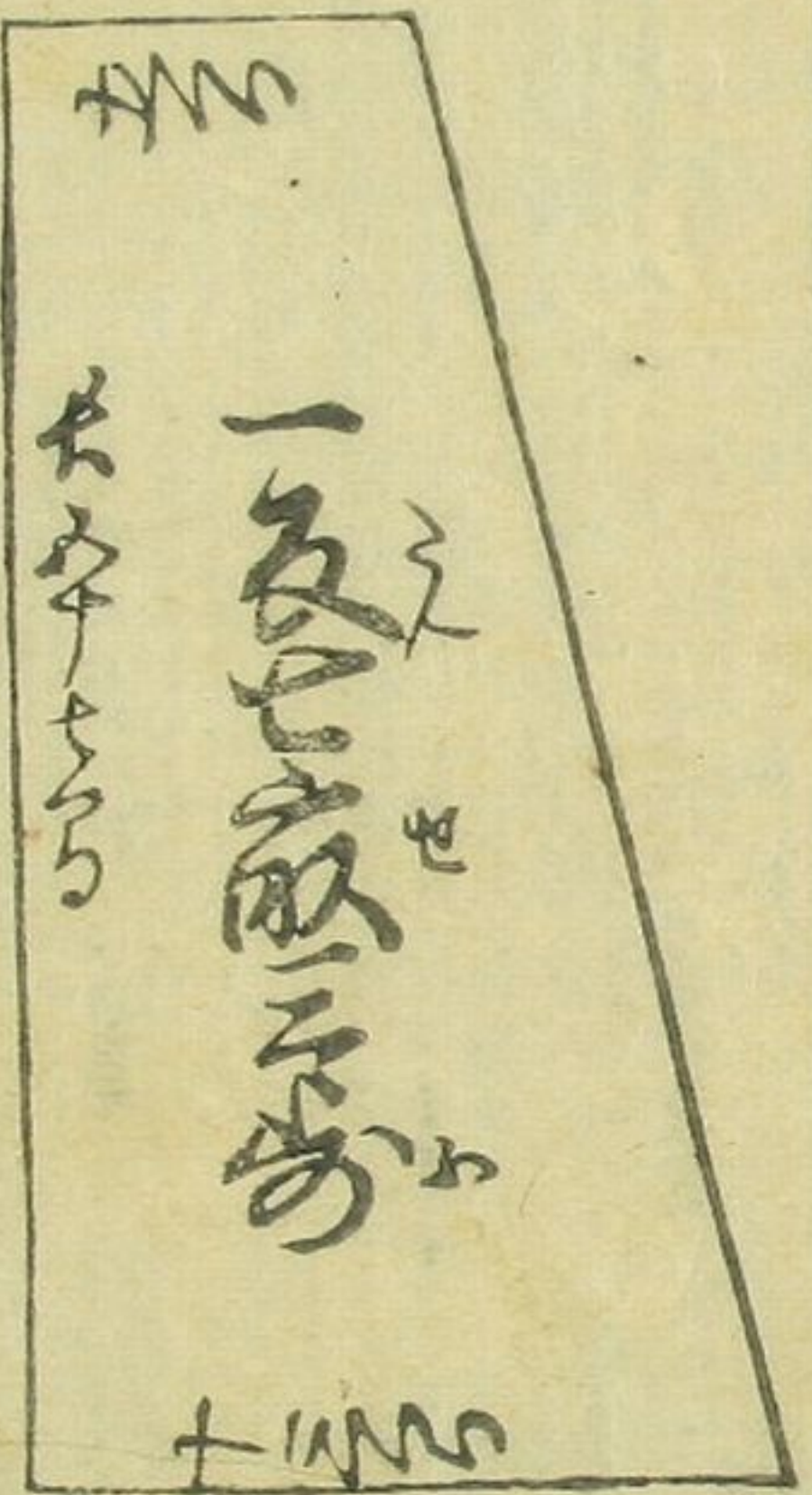


長年八百  
 長年八百  
 長年八百  
 長年八百



田中東東...  
 なるいひお丸...  
 湯...  
 一...  
 本...  
 知...  
 来...  
 三...  
 引...

長...  
 六...  
 解...



と...  
 百...

長成りるる人々守

二及一敵九家九分り

まづきると本入  
る言ふ守とた  
およきとより

くみさるるすむかひに九三美すも又たお  
あつたふるるるるるるるるるるるるるる  
かかれすす美と又そむたさ九三美すかかれ  
一美の坪<sup>ちや</sup>坪<sup>ちや</sup>七つ坪<sup>ちや</sup>おつてもと又たお  
一坪の坪<sup>ちや</sup>三又めてもたき百卒の坪<sup>ちや</sup>の分  
かりと又二坪<sup>ちや</sup>と三坪<sup>ちや</sup>坪<sup>ちや</sup>めてもた九二及一敵  
九八敵九分かりとととととととととととと

同様にたあるるるるるるるるるるるるるる  
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる  
はたつるるるるるるるるるるるるるるるる  
これらつるるるるるるるるるるるるるるる  
に分りるるるるるるるるるるるるるるるる  
二及一敵九八敵九分かりととととととと  
たつるるるるるるるるるるるるるるるる  
又たつるるるるるるるるるるるるるるる  
たつるるるるるるるるるるるるるるるる

兵年万

八歳

まろやまのう  
おころいふるあまの

あまのうらふあまのうらふあまのうらふ  
あまのうらふあまのうらふあまのうらふ

あまのうらふあまのうらふあまのうらふ



あまのうらふあまのうらふあまのうらふ  
あまのうらふあまのうらふあまのうらふ

八歳十二歳

あまのうらふ

あま

あまのうらふあまのうらふあまのうらふ  
あまのうらふあまのうらふあまのうらふ

あまのうらふ

八歳十二歳

あまのうらふあまのうらふあまのうらふ  
あまのうらふあまのうらふあまのうらふ

あまのうらふあまのうらふあまのうらふ  
あまのうらふあまのうらふあまのうらふ



二反に取れ七二あり

七五の半の五と七九の半の五

七六の半の三と七九の半の三  
七五の半の三と七二の半の三  
七四の半の三と七六の半の三  
七二の半の三と七五の半の三  
七六の半の三と七九の半の三  
七五の半の三と七二の半の三

〇六に取れ九あり

七六の半の三と七九の半の三  
七五の半の三と七二の半の三

七六の半の三と七九の半の三  
七五の半の三と七二の半の三  
七六の半の三と七九の半の三  
七五の半の三と七二の半の三

十五あり

〇五に取れ七あり七分あり

七五の半の三と七二の半の三  
七六の半の三と七九の半の三

七五の半の三と七二の半の三  
七六の半の三と七九の半の三

〇五に取れ七あり七分あり

七五の半の三と七二の半の三  
七六の半の三と七九の半の三



四十七あり  
十五あり  
七五の半の三と七二の半の三  
七六の半の三と七九の半の三

十古志  
十カ

〇一及三敵十の敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に

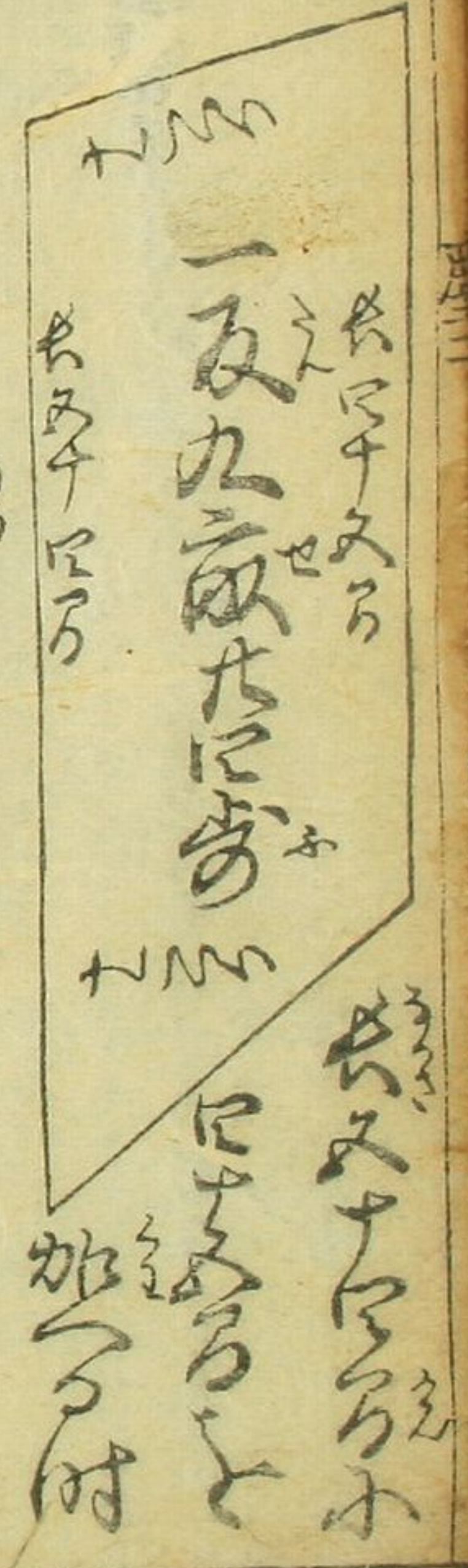


〇一及二敵十の敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に

あうさ時ろ  
十カ

〇一及三敵十の敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に  
長北二なるおまき十の敵に敵に昔  
十二敵に敵に敵に敵に敵に敵に

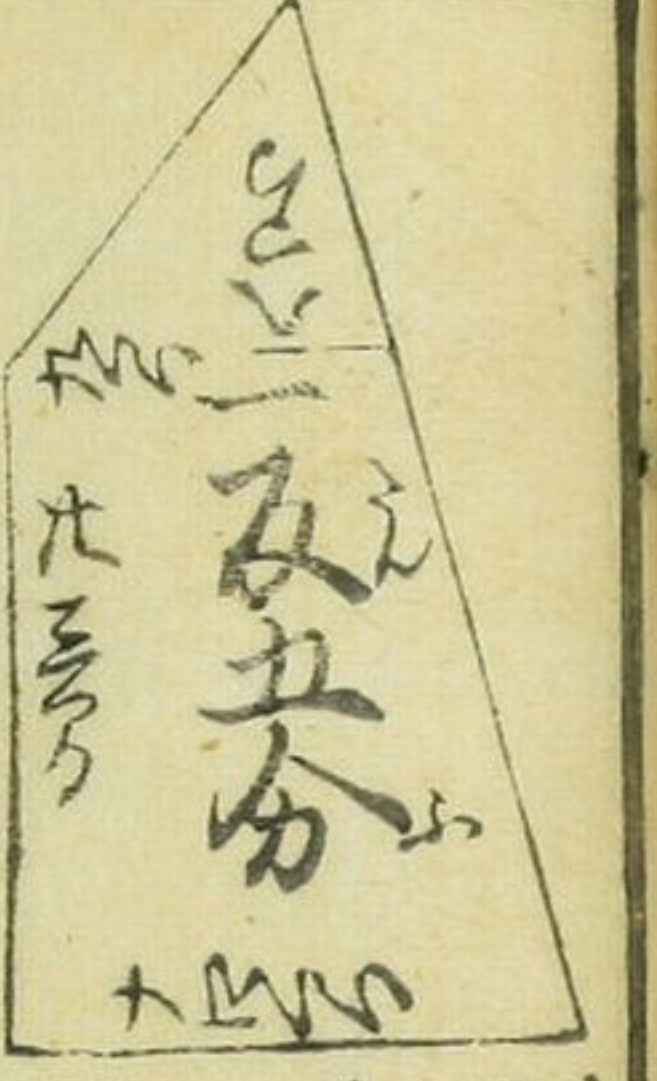




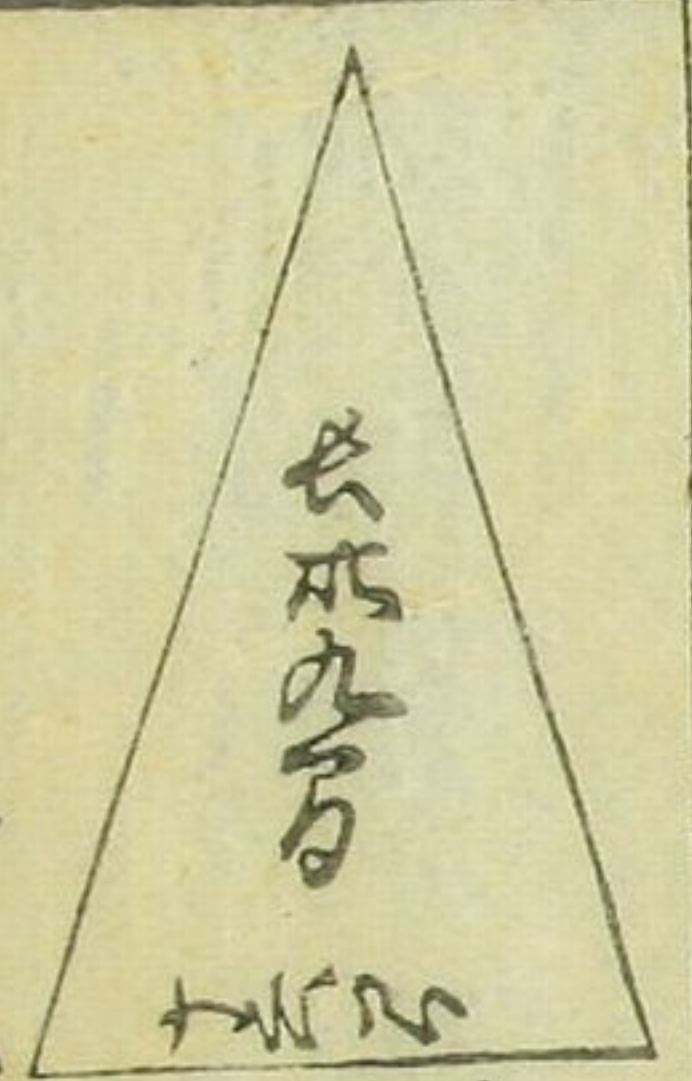
九十九のうらぶこれと二百ふとれ半九の  
 中はこれおとるのうらぶこれ又百のうらぶ  
 とはこれと二百のうらぶ



これと二百のうらぶとこれと一及九歳に寄



長三十二のうらぶこれと昔のうらぶと  
 ふとる又八のうらぶとこれと九のうらぶと  
 加れこれと九のうらぶと合して二百のうらぶ



これと二百のうらぶとこれと三百のうらぶと

長四十八  
 長四十二  
 長六

長十八  
 長十八  
 長十八

長三十二  
 長三十二  
 長三十二

長九  
 長九  
 長九

一及三敵十五勢

長九のり

十

又百の敵れと二口あり

と此の対小口千

長九のり小又十五勢

此の九のりも又これの十のりも此の百のりも  
又これの二のりも此の三のりも又これの五のりも

一及六敵九に勢

是の百のりも又此の十のりも

此の百のりも又此の十のりも

十のりも又此の百のりも又此の十のりも  
又これの二のりも又これの三のりも又これの五のりも



長九のり

一及三敵

長九のり

長九のり小又十五勢

百のりも又此の十のりも

百のりも又此の十のりも

一及三敵九に勢

十のりも又此の百のりも又此の十のりも

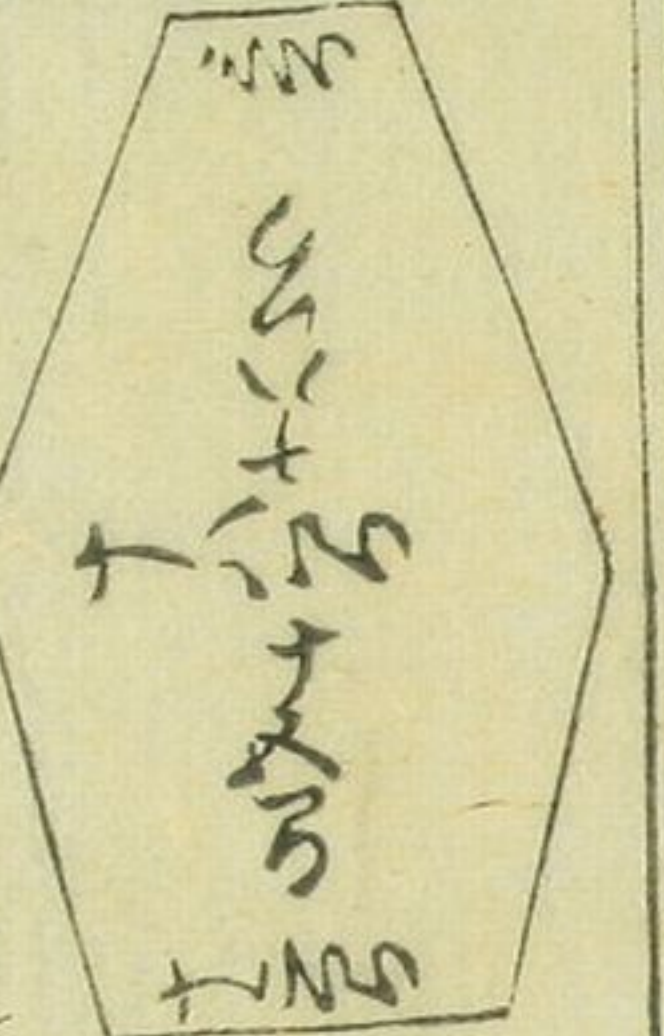
又これの二のりも又これの三のりも又これの五のりも

又これの十のりも又此の百のりも又此の十のりも

又これの二のりも又これの三のりも又これの五のりも

又これの十のりも又此の百のりも又此の十のりも

又これの二のりも又これの三のりも又これの五のりも



長九のり

長九のり

十九り  
 二及三敵九方  
 又又乃小十九るに取て  
 幸宮の敵二りすれは  
 ちらるる敵これこそは  
 ち五十九る

かくれ七百萬は敵は二の三百万は取てはるるなり

三

一〇一及三敵十九方

六世の事

此九るおつらふ敵は七百萬

九るの敵お加てはるる敵は二の三百万は取てはるるなり

此九るおつらふ敵は七百萬

これお加はるる敵は二の三百万は取てはるるなり  
 引取てはるる敵は二の三百万は取てはるるなり

〇三敵九方

又二の三百万は取てはるるなり  
 又二の三百万は取てはるるなり

二の三百万は取てはるるなり  
 二の三百万は取てはるるなり  
 二の三百万は取てはるるなり

〇三敵九方

又二の三百万は取てはるるなり  
 又二の三百万は取てはるるなり

お加はるる敵は二の三百万は取てはるるなり  
 二の三百万は取てはるるなり

九百九

長九三

九百九

〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

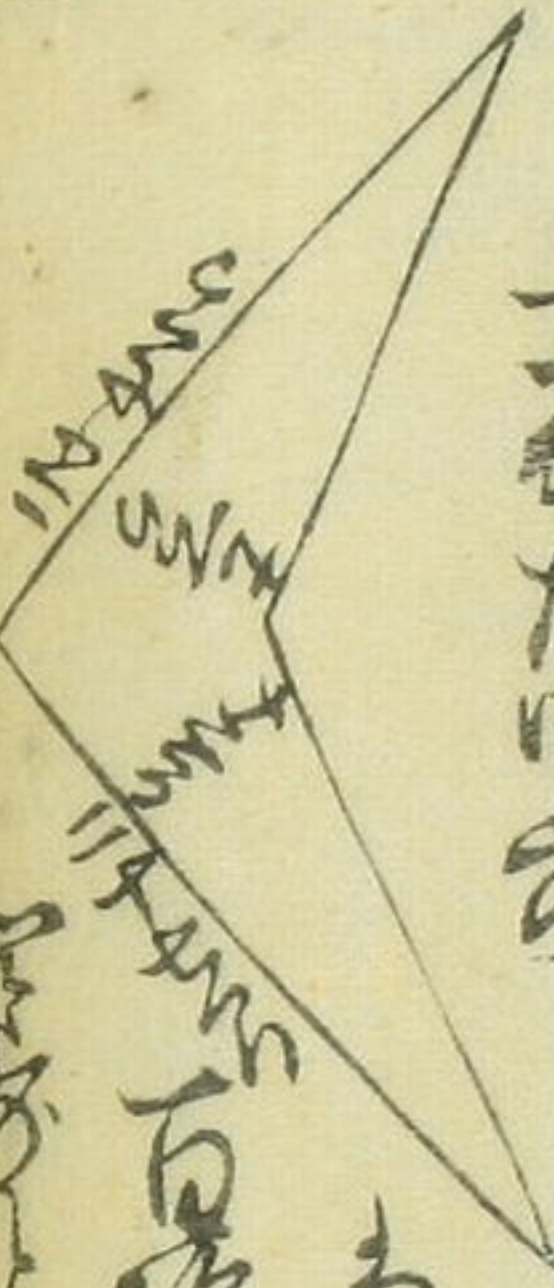
長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二



長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

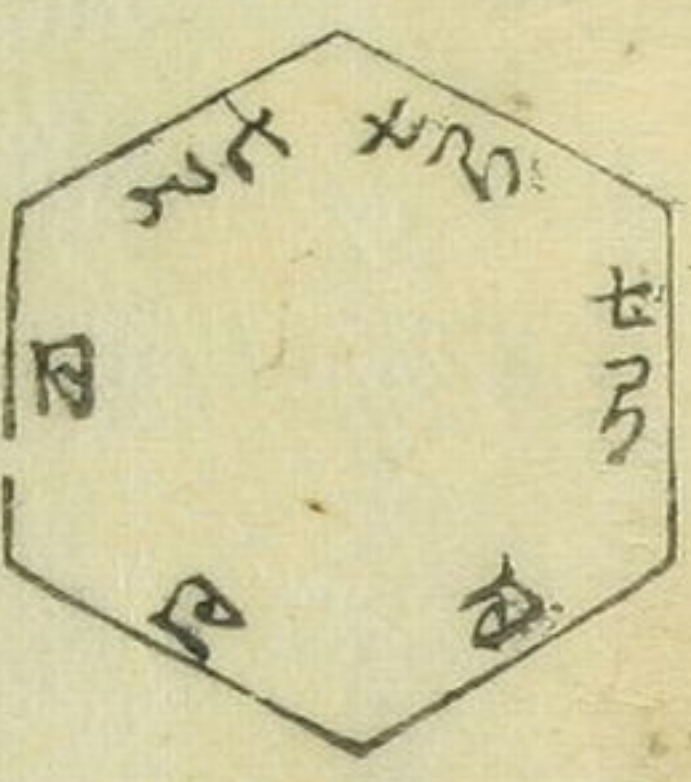
長九三 〇二反七畝二

〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二



〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

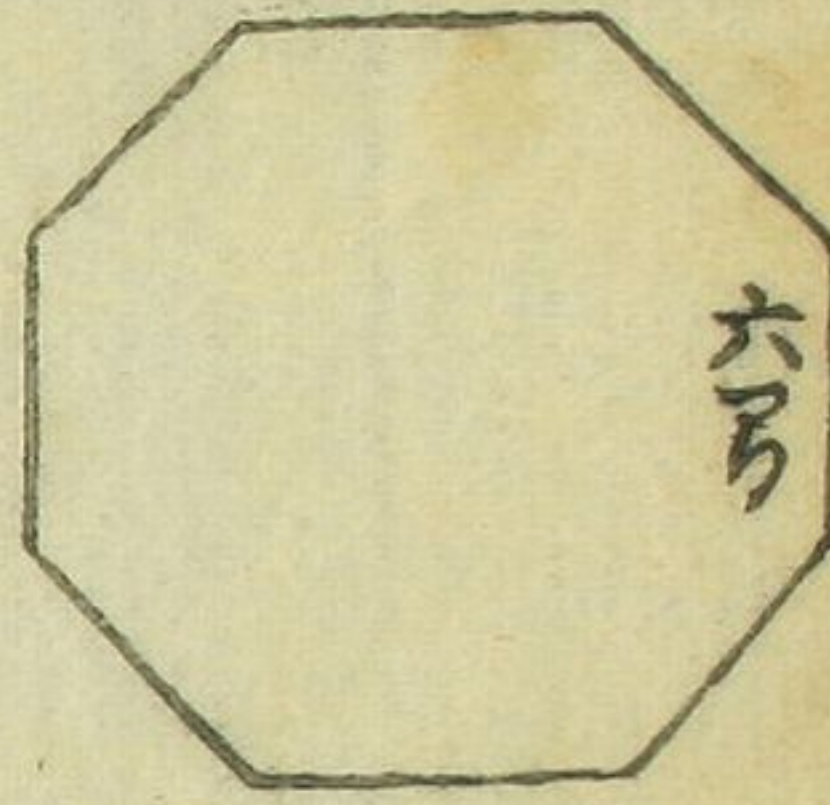
〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

長九三 〇二反七畝二

六方



八角は切りの角とて六方  
 ありしは角の数をふりて  
 八とて六方なり  
 ○百七拾三條分なり  
 申すは角とて六方とて六方  
 は三とて六方なりとて六方  
 七とて六方なりとて六方  
 八とて六方なりとて六方  
 九とて六方なりとて六方  
 十とて六方なりとて六方

弟又

六方の切りの事

△二及七角の時  
 ありて六方なりとて六方  
 〇石とて六方なり  
 先二及七角とて六方なり  
 △九及三角の時  
 〇石とて六方なり  
 先九及三角とて六方なり  
 〇石とて六方なり  
 〇石とて六方なり  
 〇石とて六方なり

△三万石の百石を考へて扱ふを考へ  
とらふ時たゞさうの扱ふを考へてとらふ時

扱ふ  
六万石の百石を考へてとらふ

たふ三万石の百石と考へてとらふと

かた扱ふ三万石の百石を考へてとらふ

△さう又考へて三万石の百石を考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

六万石の百石を考へてとらふ

△扱ふと考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

三万石の百石を考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

△扱ふと考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

三万石の百石を考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

△扱ふと考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

考へてとらふと考へてとらふと考へてとらふ

身命八十二松石汁とらふ

右小方八十二名と書て小煉とかけ

△納小方八十二松石を兩日煉て煉て

右小方八十二とわろそとらふ時

小方八十二松石汁とらふ

右小方八十二名と書て煉て煉て

△初年身命八十二名と書て煉て煉て

右身命八十二とわろそとらふ時

右小方八十二名と書て煉て煉て

△中身命八十二名と書て煉て煉て

右身命八十二とわろそとらふ時

身命八十二松石汁とらふ

右小方八十二名と書て煉て煉て

△身命八十二名と書て煉て煉て

右身命八十二とわろそとらふ時

身命八十二松石汁とらふ

右小方八十二名と書て煉て煉て

△身命八十二名と書て煉て煉て

右身命八十二とわろそとらふ時







△ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...  
 △ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...  
 △ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...

先	人	百	十	六	斗	五	分

第ニ

△ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...  
 △ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...  
 △ 争少於六石斗五分... 其後の三人角...



△三寸角の如る耳三百又於左の附耳角如る

來と如る附耳角本角三寸角本角也といふ

うらふ如る附耳角三百又於左の附耳角如る

九寸角 字定分ニ 一尺といふ

之三寸と如る耳三百又於左の附耳角如る

十寸と如る耳三百又於左の附耳角如る

又た十寸と如る耳三百又於左の附耳角如る

寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

九寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

八寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

七寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

六寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

五寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

四寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

三寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

二寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

長一丈二寸七分といふ

四尺一丈二寸八寸四分といふ

五寸と如る附耳角如る耳三百又於左の附耳角如る

△守角

長二丈二尺五寸

二尺五寸

守角の丸をありてあるお新成れ

長二丈二尺五寸

守角の長二丈二尺五寸

△守田

長一丈

一丈

守田の丸をありて守角成れ

長一丈

守田の長一丈

△守角

長一丈二尺五寸

守角

守角の丸をありて守角成れ

△守角

長一丈二尺五寸

守角

守角の丸をありて守角成れ

長一丈二尺五寸

守角の長一丈二尺五寸

守角の丸をありて守角成れ

守角の長一丈二尺五寸

守角の丸をありて守角成れ

守角の長一丈二尺五寸

第九

いごまの事

△いごまは百粒のうしろに一志あるうしろは

るをよめておていふお二葉百葉

のふたゝぬおあかゝるごとて昔

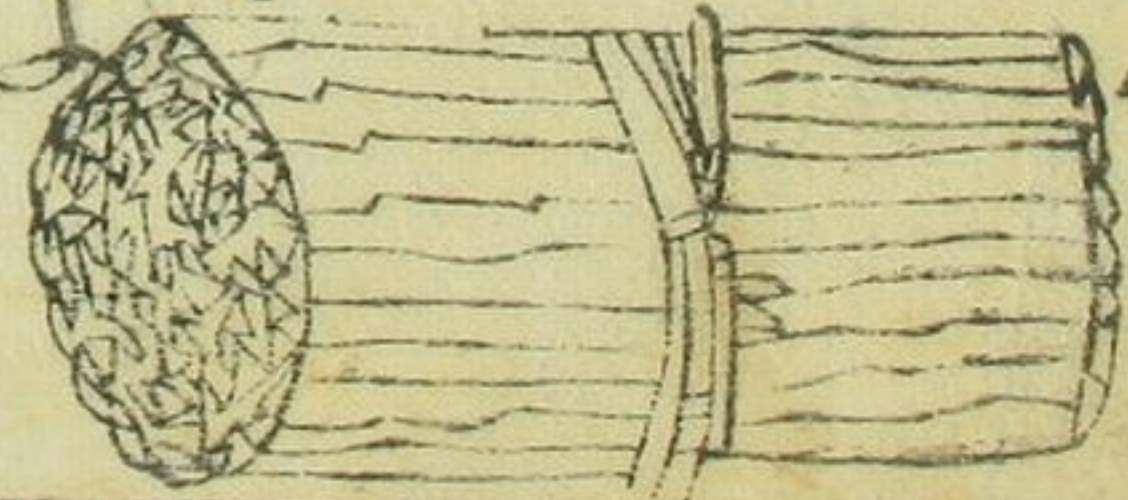
はあゝふけい守てぬ葉あふ

をあかゝ入てあかゝとらうおふ

官守おふ百は粒三葉九分をてあ

之は今を囚きまゝりの法三三ておふ守

二十粒の片取お百葉今二二分よりぬも三三意怒



いごまは百粒のうしろに一志あるうしろは

るをよめておていふお二葉百葉

のふたゝぬおあかゝるごとて昔

はあゝふけい守てぬ葉あふ

をあかゝ入てあかゝとらうおふ

官守おふ百は粒三葉九分をてあ

之は今を囚きまゝりの法三三ておふ守

二十粒の片取お百葉今二二分よりぬも三三意怒

いごまは百粒のうしろに一志あるうしろは

るをよめておていふお二葉百葉

のふたゝぬおあかゝるごとて昔

はあゝふけい守てぬ葉あふ

をあかゝ入てあかゝとらうおふ

官守おふ百は粒三葉九分をてあ



竹まらり半まるふしめて八寸ふ  
らし海軍人の志ある物行おわらるるを  
しあすよ

二尺のしめてまらる

おぬららなり丸をふあうらる

一尺の守きと竹まらり二尺の守り  
りしおふそおすと想てまらり二分守  
と想てしおふそおすと想てまらり二分守  
と想てしおふそおすと想てまらり二分守

のゆまらりし

△竹まらりし

一尺の守きと竹まらり

△一尺の守きと竹まらり

△一尺の守きと竹まらり

△一尺の守きと竹まらり

又一尺の守きと竹まらり

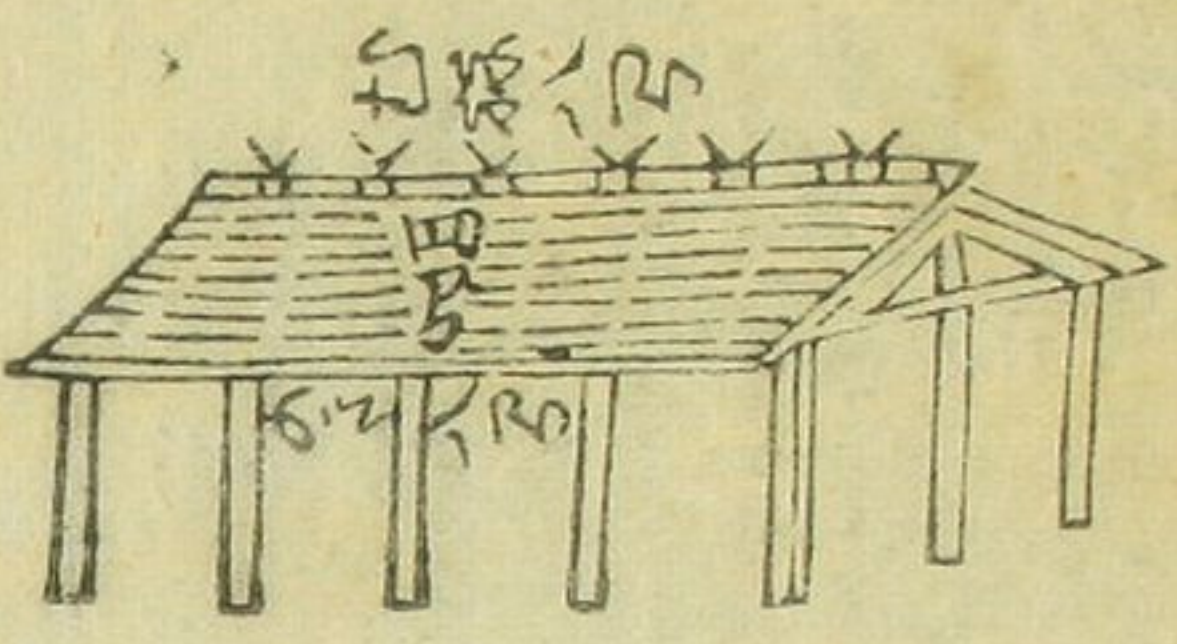
そとらあすよ

△一尺の守きと竹まらり

△一尺の守きと竹まらり



屋敷のまき板はりら筆



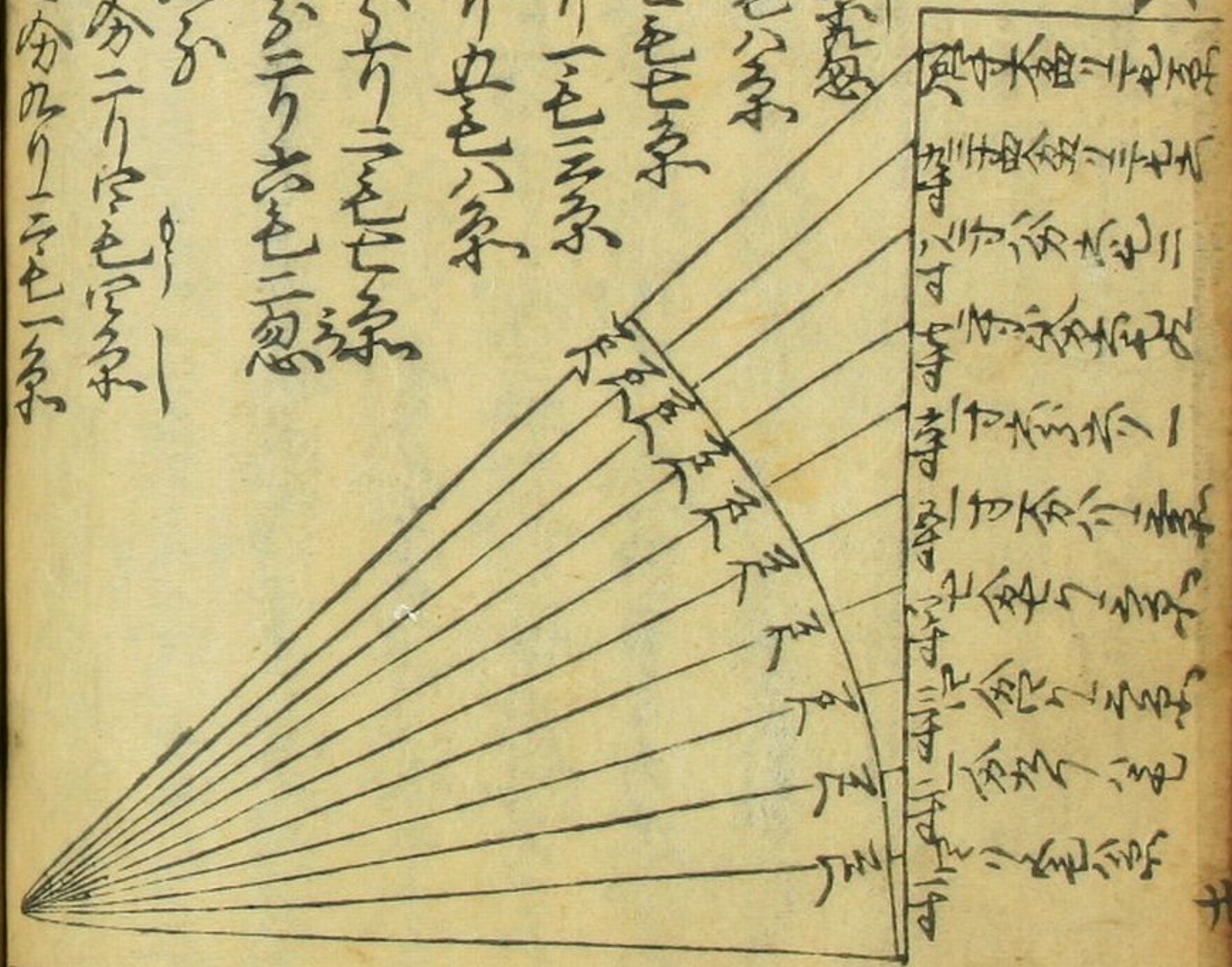
け<sup>け</sup>板敷<sup>板敷</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 こ<sup>こ</sup>け<sup>け</sup>ら<sup>ら</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 今<sup>今</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>す<sup>す</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 中<sup>中</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 初<sup>初</sup>と<sup>と</sup>わ<sup>わ</sup>り<sup>り</sup>合<sup>合</sup>す<sup>す</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 板<sup>板</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 何<sup>何</sup>種<sup>種</sup>入<sup>入</sup>る<sup>る</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 板<sup>板</sup>敷<sup>敷</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 是<sup>是</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 是<sup>是</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>

下<sup>下</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 今<sup>今</sup>と<sup>と</sup>わ<sup>わ</sup>り<sup>り</sup>合<sup>合</sup>す<sup>す</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 △<sup>△</sup>月<sup>月</sup>右<sup>右</sup>中<sup>中</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 一<sup>一</sup>寸<sup>寸</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 九<sup>九</sup>方<sup>方</sup>合<sup>合</sup>百<sup>百</sup>二<sup>二</sup>尺<sup>尺</sup>三<sup>三</sup>寸<sup>寸</sup>分<sup>分</sup>入<sup>入</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 是<sup>是</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>  
 今<sup>今</sup>と<sup>と</sup>わ<sup>わ</sup>り<sup>り</sup>合<sup>合</sup>す<sup>す</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>ら<sup>ら</sup>筆<sup>筆</sup>



第十のりび

又分 一丁一毛一系  
 一寸五分一系  
 二寸五分一系  
 三寸五分一系  
 四寸五分一系  
 五寸五分一系  
 六寸五分一系  
 七寸五分一系  
 八寸五分一系  
 九寸五分一系

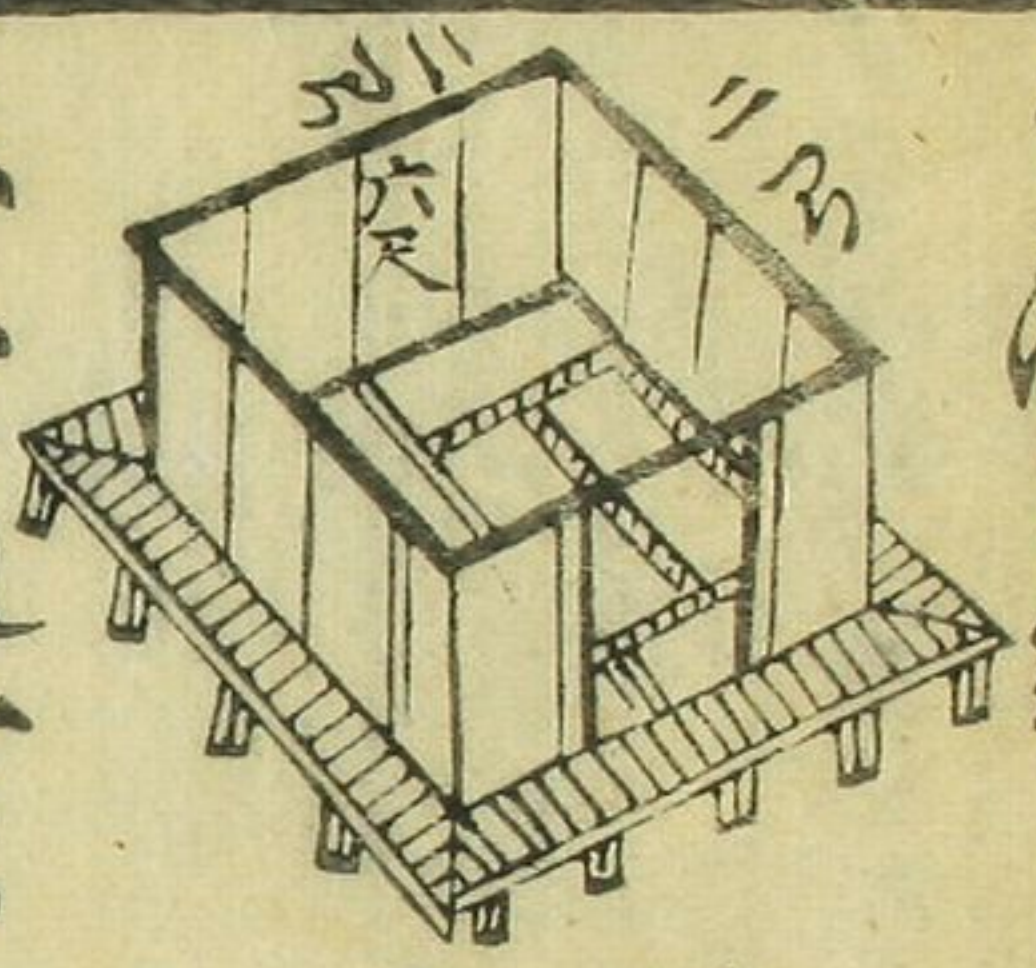


又分 一丁一毛一系  
 一寸五分一系  
 二寸五分一系  
 三寸五分一系  
 四寸五分一系  
 五寸五分一系  
 六寸五分一系  
 七寸五分一系  
 八寸五分一系  
 九寸五分一系

111111



△此の器は金銀の入れ物に用ひるに  
 宜しき物なり。其の作りは、  
 四方の板を組んで、上は蓋を  
 つけ、中に仕切り板を  
 入れて、三層に分ける。蓋は  
 丸蓋にして、口は少し狭く  
 する。此の器は、金銀の  
 入れ物に用ひるに、最も  
 宜しき物なり。其の作りは、  
 四方の板を組んで、上は蓋を  
 つけ、中に仕切り板を  
 入れて、三層に分ける。蓋は  
 丸蓋にして、口は少し狭く  
 する。此の器は、金銀の  
 入れ物に用ひるに、最も  
 宜しき物なり。



○此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。其の作りは、四方の板を組んで、上は蓋をつけ、中に仕切り板を入れて、三層に分ける。蓋は丸蓋にして、口は少し狭くする。此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。

又、此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。其の作りは、四方の板を組んで、上は蓋をつけ、中に仕切り板を入れて、三層に分ける。蓋は丸蓋にして、口は少し狭くする。此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。



此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。其の作りは、四方の板を組んで、上は蓋をつけ、中に仕切り板を入れて、三層に分ける。蓋は丸蓋にして、口は少し狭くする。此の器は、金銀の入れ物に用ひるに、最も宜しき物なり。



一六寸と加へて是等といはれはちとをきえ  
 不かくれい二八寸と或はてはちとをきえ  
 或はち同法せ九寸かくれはち二八寸と  
 これも中棟の法と云ふかくれはち中棟  
 又はち中棟又はち中棟又はち中棟かく  
 かくれはち中棟又はち中棟又はち中棟

ち集て  
 〇六寸の合入といふ  
 是の八寸といふはちといふ  
 てかくれはち中棟といふは  
 ちといふはち中棟といふは

二寸二分百

二寸四 百六拾七分

二寸百

二寸四 九拾三分

二寸五分百

二寸四 百拾二分

二寸百

二寸四 八拾七分

二寸三分百

二寸四 百拾一分

二寸百

二寸四 八拾二分

二寸五分百

二寸四 百九拾分

二寸百

二寸四 七拾七分

二寸五分百

二寸四 百二拾分

二寸百

二寸四 七拾二分

二寸六分百	二寸道	百廿九枚
二寸百	二寸道	六拾九枚
二寸七分百	二寸道	百又拾二枚
二寸百	二寸道	六拾又枚
二寸分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸四分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚

二寸八分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸七分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸四分百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚
二寸百	二寸道	百零枚

三寸七分 百粒百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸八分 百

二寸七分 百

二寸六分 百

二寸五分 百

二寸四分 百

二寸三分 百

二寸二分 百

二寸一分 百

二寸 百

一寸九分 百

三寸一分 百粒百

三寸二分 百粒百

三寸三分 百粒百

三寸四分 百粒百

三寸五分 百粒百

三寸六分 百粒百

三寸七分 百粒百

三寸八分 百粒百

三寸九分 百粒百

三寸 百粒百

二寸九分 百粒百

二寸八分 百粒百

二寸七分 百粒百

二寸六分 百粒百

二寸五分 百粒百

二寸四分 百粒百

二寸三分 百粒百

二寸二分 百粒百

二寸一分 百粒百

二寸 百粒百



三寸九分 百枚

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

一寸九分 百

一寸五分 百

一寸 百

三寸九分 百枚

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

一寸九分 百

一寸五分 百

一寸 百

三寸九分 百

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

一寸九分 百

一寸五分 百

一寸 百

三寸九分 百枚

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

一寸九分 百

一寸五分 百

一寸 百

三寸九分 百

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

三寸九分 百枚

三寸五分 百

三寸 百

二寸九分 百

二寸五分 百

二寸 百

二守六分百  
二守七分百  
二守八分百  
二守九分百  
二守十分百  
二守  
二守

二守六分百  
二守七分百  
二守八分百  
二守九分百  
二守十分百  
二守  
二守

二守六分百  
二守七分百  
二守八分百  
二守九分百  
二守十分百  
二守  
二守

二守六分百  
二守七分百  
二守八分百  
二守九分百  
二守十分百  
二守  
二守

三寸七分百拾百

三寸六分百

三寸五分百

三寸四分百

三寸三分百

三寸二分百

三寸一分百

三寸百

二寸九分百

三寸六分百又投六分

三寸五分九分投五分

三寸四分百分投四分

三寸三分百分投三分

三寸二分百分投二分

三寸一分百分投一分

三寸百分投

二寸九分百分投九分

二寸八分百分投八分

二寸九分百

二寸七分百

二寸五分百

二寸四分百

二寸三分百

二寸二分百

二寸一分百

二寸百

一寸九分百

二寸七分百分投七分

二寸五分百分投五分

二寸四分百分投四分

二寸三分百分投三分

二寸二分百分投二分

二寸一分百分投一分

二寸百分投

一寸九分百分投九分

一寸七分百分投七分

一寸五分百分投五分

△あらひの三千六百枚百十の数の時二千二分

百枚のふりこみあたらちの寸

<sup>三手</sup>銀指はあはれおつみあつみ

あつみつら百大はるむひふたふ

かかれ六十のあはれつらふお

△あつひの三千六百枚のあつむひふたふ

あつむひつら百大はるむひふたふ

<sup>三手</sup>あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

<sup>三手</sup>あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あらひの

三手

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ

あつむひのあつむひつら百大はるむひふたふ



